

地図の①～⑧の地点に
昔ながらの草原の

くさこづ 『草小積み』

を再現しています
(2025年10月～2026年2月頃まで)



阿蘇地域世界農業遺産推進協会事業
「草小積み再生プロジェクト」



① 大観峰近くの草原

(ミルクロード沿い)
大観峰から扇谷展望所に向かう途中
ミルクロードの南側にあります。
小倉・西小倉両区の皆さんが協力して
製作されました。
②あり



⑧ 傑山交流館萌の里駐車場

砂利駐車場の一角にあるナミ像
側の野原に設置しています。
小森原野組合の皆さんが製作さ
れました。②あり



⑦ 南阿蘇桜公園内

アスペクタに隣接した公園の一角に
あります。春には桜との共演が楽し
めます。南阿蘇桜公園管理組合の皆
さんが製作されました。②あり



⑥ らくだ山のふもと

月廻り公園向かい、らくだ山の麓
に設置しています。村山牧野組合
の皆さんが製作されました。
②なし



② 城山展望所近く

(やまなみハイウェイ沿い)
城山展望所からくじゅう方面へ
少し走ると右手にあります。
三閑（さんか）牧野組合の皆さん
が作られた草小積みです。
②あり



③ 箱石峠近くの草原

電波塔が建っている展望のよい
場所にあります。町古閑（まち
こか）牧野組合が地元協力者と
一緒に製作されました。②国道
から電波塔へ上るとあり



④ 265号沿いの草原

阿蘇市と高森町を結ぶ国道265
号沿いに設置しています。
地元農家の釣井さんと安片さん
が協力して製作されました。
②なし



⑤ 野尻の草原

高森町野尻地区の町道に面した草原に設置
しています。認定NPO法人阿蘇花野協会の
皆さんが、協力企業や大学と連携して製作
されました。
②あり



※運転中のよそ見はたいへん危険です。見学は車を停めて行ってください。

【お願い】草原（牧野内）へは関係者以外の方は立ち入れません。柵の中には入らないでください。

2025年12月発行 【事務局】公益財団法人 阿蘇グリーンストック

☎0967-32-3500



阿蘇の草原文化を継承するために 『草小積み再生プロジェクト』



『草小積み』、ご存知ですか？

草小積みとは、秋に草原の草を刈り、干した草を束にまとめ、積み上げたもの。昔ながらの草の保存方法で、農家は必要に応じて干し草を里へ持ち帰り、冬の間畜舎でくらす牛馬のエサや敷料に使いました。そして最後は堆肥にして田畠に施しました。



今、草小積みが阿蘇の風景から消えようとしています。

昭和40年代頃まで、晩秋の草原では多くの草小積みが見られました。しかし近年、牛馬の数が減って干し草の需要が減るとともに、草刈り機の大型化や輸送の発達で、農家が草小積みを作る必要性は低くなりました。そのため、草小積みを見る機会は少なくなり、作れる人も減ってきています。

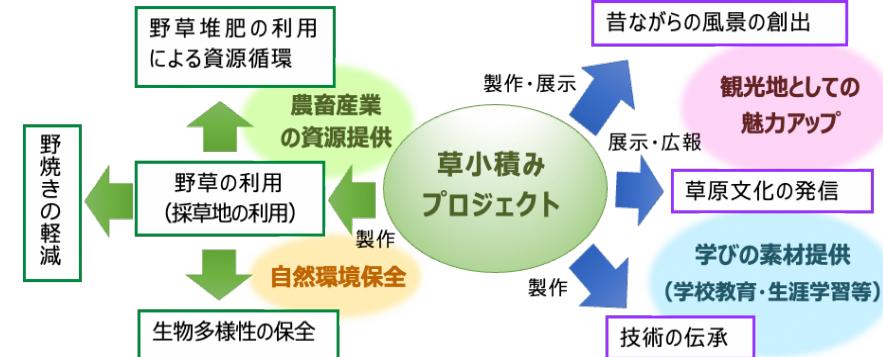


そこで、阿蘇の草原利用の歴史の中で培われた先人の知恵と技を引き継ぐため、平成28年度（2016年度）、阿蘇地域世界農業遺産推進協会の事業として、『草小積み再生プロジェクト』がスタートしました。

草小積み再生プロジェクトがめざすもの

草小積みの元々の役割は冬期の干し草保存で、草を利用する人々の知恵でもありました。かわって現代、草小積みづくりには下図のような新たな価値や効果が見出されています。

これらの価値や効果を共有する人々の間で新たな協働の可能性があると考えられます。



阿蘇地域世界農業遺産推進協会事業

<草小積み再生プロジェクト事務局>

公益財団法人 阿蘇グリーンストック

〒869-2307 阿蘇市小里656-1 ☎0967-32-3500